

## アーセプトグループの地域貢献活動 2024 紹介（2024 年 1 月—8 月）

○あきた未来塾 11 期生「余市ワークショップ」（2024 年 5 月 17 日—18 日）

秋田銀行が主催する「あきた未来塾」（県内有力企業の後継者育成事業）の 11 期生のカリキュラムとして、北海道余市町のエコビレッジ（NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト（坂本純科代表）が運営）でワークショップが開催されました。長谷部特別顧問はファシリテーターとして参加。北海道在住の韓国、マレーシア、ロシアからの参加者計 4 名も交えた SDGs に関するディスカッション、ワイン葡萄の手入れ、坂本代表からのプレゼンテーション、余市町でワイン葡萄栽培・醸造をスタートアップした移住者の方からの実体験談のレクチャーなど多様なプログラムを受講しました。未来塾では、SDGs や農業体験のワークショップは初めての試み。「英語を交えたディスカッションなど先輩塾生の体験できなかったプログラムで、とても新鮮な体験となった」と参加塾生からも好評な講義となりました。エコビレッジ主催の SDGs 研修には、アーセプトグループの若手スタッフも 2023 年に 1 名参加。本年は 2 名が参加予定です。



余市エコビレッジ（北海道余市町モンガク谷）

○秋田県立大学「ベンチャー起業論」の特別講師を務める（2024年5月24日）

長谷部特別顧問は本年も県内大学生のスタートアップ支援のため、秋田県立大学(本荘キャンパス)の特別講師を務めました。同大学では嶋崎真仁教授の指導のもと、本年から「起業同好会」が新規に設立され、学生の起業支援を積極的に展開しております。

アーセプトグループでは、これまで、国際教養大学、秋田大学でも大学生向け起業講座の講師を務めております。

○秋田銀行スタートアップ支援プログラム「スクラム」(2024年6月5日)

秋田銀行は人口減少・市場縮小を起因として県内の事業所数が激減する中、地方銀行として、県内経済の将来を担うスタートアップの支援事業を積極的に展開してきました。本年もインキュベーション(並走支援)型のスタートアップ支援「スクラム」の審査会が開催されました。経営学博士である長谷部特別顧問は今回も審査員として参加。空き家対策事業やゲームソフト開発などユニークなアイデアが採択されました。これまでの同行のスタートアップ事業の採択者(受賞者)の多くはすでに県内各地で事業化に着手し、それぞれの地域の将来経済を担うべく健闘しています。

○あきた未来塾11期生「経営戦略」の講師を務める(2024年7月19日)

アーセプトグループの長谷部光哉(経営学博士・公認会計士・税理士)、長谷川晃(中小企業診断士・事業再生士補)、長谷部崇(特定社会保険労務士)は、本年も、塾生の卒業課題である自社の経営戦略策定のための講義(プレゼンテーション技術指導を含む)と個別指導を行いました。個別指導では、経営戦略立案、中小企業政策、新規事業、労務(外国人労働者採用)などそれぞれの専門領域の知見を活かした多面的かつ効果的なアドバイスを行いました。8月8日開催された自社戦略の卒業発表会では、塾生全員が受講の成果を存分に発揮し、塾生所属の代表者などから高い評価を頂きました。県内経済界の最大の課題と言える「事業承継」。未来塾の11年間の活動は着実に県内経済の「未来創造」に貢献しております。アーセプトグループは1期生から11期連続で、同カリキュラムの講師を担当しております。

以 上